

# 町行政の現状と展望

人が輝き、未来が輝く、夢あふれるまち へぐり

オータムフェスタへぐり2023

左下：トラクター展示コーナーでの1コマ



令和6年1月



奈良県平群町

デジタル版  
(カラー)はこちら





## 第1章 住みたい・住み続けたいまちづくり

- 1-1 安心して子どもを産み、育てられる環境づくりの推進・・・ p3
- 1-2 未来を担う子どもたちを育てるまちづくり…………… p5
- 1-3 魅力つたわる情報発信…………… p6
- 1-4 豊かな歴史資源や特産品を活かした観光まちづくり……p7

## 第2章 住民の暮らしを支えるまちづくり

- 2-1 災害に強いまちづくり…………… p9
- 2-2 生活を支える公共交通…………… p9
- 2-3 地域で支え合い、安心して暮らせる福祉のまちづくり……p9
- 2-4 生きがいを創り出す生涯学習と文化活動……………p10
- 2-5 環境への負荷の少ないまちづくり…………… p11
- 2-6 持続可能な行政運営に向けたまちづくり……………p12

- 資料— 「平群町ウォーターパーク」廃止経緯のご説明……p14

# 1-1 安心して子どもを産み、育てられる環境づくりの推進

## 主な支援策

	主な支援策	概要	備考
1	生活応援クーポンの配布	物価高騰支援として、町内で使用できるクーポン券を配布（8月発送済）	3千円分
2	移住支援 （※令和5年度分は受付終了しました）	奈良県内企業等の人材不足の解消及び平群町への移住・定住を図るため、東京圏から移住し、就業等の条件を満たした方に支給	最大100万円 ※令和5年4月1日以降転入、39歳以下等の条件あり
3	結婚新生活支援	結婚に伴う新生活のスタートアップに係る費用（住宅の購入費、引越費、家賃等の全部または一部）を条件を満たした方に支給	最大30万円 ※夫婦共39歳以下、合計所得500万円未満等の条件あり
4	出産応援ギフト	新たに妊娠の届出をし、面談を受けた妊婦に対し支給。妊娠届時に申請書類お渡し。	5万円
5	子育て応援ギフト	出生届後に面談等を受けた子を養育する人に対し支給。町保健師訪問時に申請書類お渡し。	5万円／子1人
6	低所得の子育て世帯生活支援特別給付	児童扶養手当支給対象者、家計急変者等に対し支給（申請不要者へは5月下旬支給済）	5万円／子1人

## 大型複合遊具の整備

平群中央公園・北公園に子ども達が夢中になって遊べる仕掛けがいっぱいのアスレチック遊具の整備を行いました。多くの親子連れが町内外から訪れ、歓声と笑顔で楽しめる空間となっています。



平群中央公園



平群北公園

## 私立レイモンド平群こども園の開園

平群町初の民間こども園が、令和6年4月に開園します！旧南保育園跡地（西宮1丁目）に新たなこども園として開園されます。多様な子育てニーズに対応するため、連携を図ってまいります。



イメージパース図

### 《保育理念》

私たちは、すべての子どもに対し、短期的な結果を求めず、生涯消える事の無い“生きる力”を育てたいと思っています。

“生きる力” = 3つの心

- ① 人・命を愛する心
- ② 自然と共に生きる心
- ③ 想像（創造）する心

# 1-1 安心して子どもを産み、育てられる環境づくりの推進

## スポーツ施設等の相互利用（生駒市・三郷町）

### ■ 生駒市との相互利用

- ・ **スポーツ施設**▶ 生駒市井出山スポーツ施設、むかいやま公園スポーツ施設が利用可能
- ・ **図書館**▶ 生駒市図書館が利用可能。（借りた本は同市のどの図書館でも返却可）
- ・ **し尿処理施設**▶ 生駒市のエコパーク21で処理

### ■ 三郷町との相互利用(スポーツ施設)

- ・ **FSS35スポーツパーク**▶ 中学生以下は三郷町内料金で利用可能（バスケットコート・BMXパーク・スケートボードパーク）



## 「山のぼっけ」花いっぱいサポータークラブ制度

公園・道路等の緑化や環境美化にボランティアとして社会に貢献している団体に、苗木や資材等を支援する制度です。現在12団体が活躍されています。

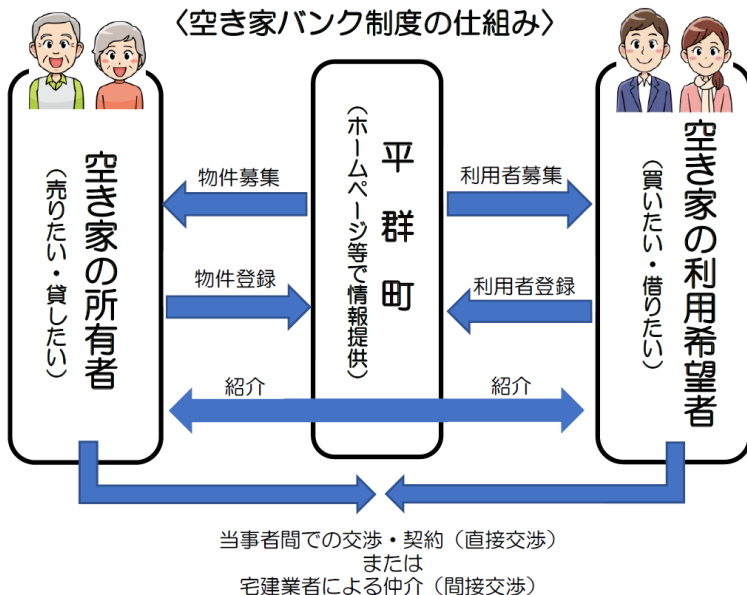


### 活動団体

菊美台クラブ（東山駅前ロータリー）
櫛原地域資源保全会（千光寺・役行者と修験の道）
チーム・マザーママ（平群北小学校前）
花つばき（樫台 若葉大橋北側）
虹グループ（若葉台 若葉大橋南側）
ウエストサイドガーデン（竜田川駅西側）
岸本清掃管理センター（平群駅南側）
竜田川・まぐわ淵愛好会（まぐわ淵）
竜田川まほろば遊歩道推進の会（河川敷）
ふれあい初香台園芸部（はつかやま会館横）
雪餅草（若葉台緑地）
紫陽花（若葉台緑地）

## 空き家バンク

### 〈空き家バンク制度の仕組み〉



空き家バンク制度とは、自治体が主体となって運営し、空き家の賃貸・売却を希望する所有者から提供された情報を集約し、空き家をこれから利用・活用したいとお考えの方に紹介する制度です。

登録方法等、詳細はホームページをご覧ください。



### 空き家登録等の状況

（R5.9.30現在）

	R3	R4	R5	計
空き家登録数	17	14	5	36
利用希望者数	40	67	46	153
成約数	7	2	5	14

# 1-2 未来を担う子どもたちを育てるまちづくり

## 平群町こどもスポーツ体力向上事業

ライフスポーツ財団・こども活動支援事業として町立こども園の3歳児(年少)の運動遊びをしています。動物の「跳ぶ」「這う」「股関節を広げる」など遊びを中心に楽しく体を動かしながら運動習慣の基盤づくりをし、マット運動など体力・運動能力の基礎を培っています。



## 教育設備の充実と、快適で安全な学校生活のために

### ■平群町地域クラブ活動 ～“やりたい種目”を“やりたい日”に！～

学校主体であった「部活動」を、これからは「地域」主体で取組んでいくものへと移行していく「中学校の部活動改革」が、現在、国をあげて進められています。そこで今年度は「スポーツ庁検証事業(実証事業)」として、11月～「ヒップホップダンス」、12月～「硬式テニス」について募集し取組んでいます。



詳細はHP

### ■社会科副読本「わたしたちの平群町」の改訂とデジタル化

町立小学校の授業で使用する、郷土学習の教材を改訂しデジタル化しました。タブレット端末を活用し授業を進めています。



顕微鏡カメラ(平群小学校)

### ■顕微鏡カメラ等の整備

国庫補助金を活用し、理科教材備品を購入しました。

### ■へぐりこどもサミット～SDGs版カルタをつくろう～

町内各小・中学校と教育委員会が協力し、各校において学習を進めているSDGsについて、現時点での成果を持ち寄って「SDGs版カルタ」を作成しました。「へぐりこどもサミット」当日には、将来の世界や自分たちの暮らしに貢献する態度を提案しつつ、互いに学習したことを交流しました。



### ■施設整備の状況

- ・平群北小学校 ▶ 中央棟1階から3階のトイレを全面改修
- ・平群南小学校 ▶ 新しいコンビネーション遊具の設置
- ・平群中学校 ▶ 北館2階トイレの全面改修



平群南小学校に設置された複合遊具

## 近畿大学との包括連携協定の活用

町内遊休農地を有効活用して、近畿大学農学部のアグリビジネス実習を実施しています。

6月には、平群南小学校にゲストティーチャーとして3人の大学生が来てくれました。子どもたちは学校で育てている野菜について大学生たちと交流しながら和気あいあいと学ぶことができました。

これからも近畿大学との包括連携協定を活かした取組みを実施していきます。



# 1-3 魅力つたわる情報発信

## 広報・HP・SNSによる情報発信

### ■親しみのある「広報紙」作り

広報紙700号記念企画で、町内小学生から募集した習字作品を表紙の題字として採用しています。（令和6年5月号まで毎月掲載）

### ■SDGsの周知

SDGsについて考える機会として、SDGsの紹介や身近な取組み、クイズなどのコラムを広報・HPに掲載しています。

### ■手話言語の周知・啓発

昨年度に手話言語条例を制定し、手話への理解促進・普及を図るため、定期的に手話単語をコラムとして掲載しています。

### ■情報発信のデジタル化を整備（HP・SNSでの発信）

LINEは防災情報等、Facebook等では「#平群のおいしい給食」「#平群で子育て」等、関連記事を検索できます。HPでは広報の他、折込・回覧物も閲覧できます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



LINE



フェイスブック

## プロモーション活動

### ■動画制作

30秒動画を2本制作し、その内1本を奈良テレビ主催の「ふるさとCM大賞2023」に応募しました。現在どちらの動画もYouTubeにて配信しています。ぜひご覧いただき“いいね！”をお願いします！



動画A「平群の恵みをあなたへ」



動画B「トップの座は譲れない」



### ■フリーペーパーへの記事掲載

奈良県と京都府南部を中心に発行されている子育て情報発信メディア「ことままとま」にて、パパ・ママへのインタビューや子育て支援・施設等の情報を掲載しました。



生駒駅のポスター

### ■近鉄主要駅で広告掲載（ポスター、デジタルサイネージ）

大阪難波駅や大和西大寺駅等への掲載を通じて、結婚新生活支援事業のPRを行いました。

## 観光Instagramを活用したPR活動

### ■フォトコンテスト

7月～8月に「#へぐりフォトコン2023夏」を実施しました。平群町の魅力の発信と愛着の醸成を目的に「私のお気に入り in へぐり」をテーマに写真を募集し、約150件の応募がありました。

### ■飲食店紹介

平群町を訪れる人に食事や休憩を町内でしてもらうことを目的に、平群にしかないお店として町内飲食店の紹介投稿を実施しました。

観光Instagram



# 1-4 豊かな歴史資源や特産品を活かした観光まちづくり

## 平群ブランド / 基幹産業のPR

自然・歴史・農産物・暮らしなど平群らしさを育むものとして「平群ブランド」を制定。現在、農産物8名2団体、加工品5品目、文化財等地域資源2ヶ所を認定しています。

それらの高品質な農産物等を全国へ広く知ってもらうため、ふるさと納税の返礼品としても多数ラインナップしています。特に奈良県ブランド莓「古都華」の栽培面積は平群町が県内TOPであり、返礼品の中でも平群の古都華は人気が高く、多くの寄附者に喜ばれています。

また、総合文化センターではボランティア団体により、美しいバラが植えられています。役場入口にもそのバラ等を飾り、来庁者へのおもてなしの気持ちを込めてバラや小菊のPRをしています。



## 道の駅大和路へぐり くまがしステーション

### ■コロナ禍以降、売上げは年々増大！令和5年9月奈良県道の駅人気ランキング「第1位」

平群産農産物を核とした「とれたて市」の産地直売、県内産ブランド商品、平群ブランドスイーツ等の令和4年度決算売上実績額5億6千万円（対令和2年度決算比1.31倍）。

一方、生産者の高齢化と担い手不足により、農産物の量・品数の減少、および質の低下が懸念されています。課題克服のため、道の駅大和路へぐりが核となって地域ぐるみの6次産業化を進め、持続可能な安定経営の支援をしています。



とれたて市の賑わい



手作りみそ



古都華ピューレ加工

### ■「愛と賑わいのあるふれあい広場」の魅力の高まりから賑わい向上

憩いの場となっている「ふれあい広場」花壇を町観光ボランティアガイドの会、屋外店舗事業者の皆さんと協働で定期的に植え替えています。四季折々の花々が、県内外からの来訪者を温かく迎えています。



ボランティアにより手入れされた花壇

### ■道の駅大和路へぐり 四季フェスタ の開催

幅広い層の集客と賑わいを創出する「道の駅大和路へぐり未来プロジェクト」を推進し、四季フェスタを実施しました。秋のフェスタでは、ヘグリローズ「幸せの花リング」写真スポットを設け、平群の魅力を発信しました。

2023冬・春「古都華フェア～古都華の聖地・平群～」	令和4年12月～4月
2023春「へぐり美(うるは)しフェスタ」	4月22日～5月31日
2023夏「平群ブランドフェスタ」	7月1日～9月30日
2023秋「平群ブランド収穫＆フラワーフェスタ」	10月1日～11月30日
2024冬・春「古都華フェア～古都華の聖地・平群～」	12月～令和6年4月



幸せの花リング(バラ)

# 1-4 豊かな歴史資源や特産品を活かした観光まちづくり

## 文化財資源の保全

令和5年度は吉新の旧家に所蔵されている、明治時代以降に作成されたものを中心とした古文書の整理作業を実施しています。一部作業には、専門課程を履修する大学生のほか、公民館教室「文化財調査サポーター養成講座」受講生の協力を得ています。

また、文化財の価値の発信・共有(=活用)に向けた取組みとして、町民向け講座等を通じ、過去に実施した文化財調査成果の社会への還元を図りました。あわせて、年度内に総合文化センターにて企画展示を開催予定です。



調査対象資料の一例

### ■「平群史蹟を守る会」の活動

昭和45年に烏土塚古墳の保存運動を契機として発足した平群史蹟を守る会は、行政とも連携しながら、夏季公開講演会や古墳の草刈り整備等、平群の史蹟の普及啓発や調査保存に向けた幅広い活動に取り組んでいます。



夏季公開講演会

### ■「平群町観光ボランティアガイドの会」の活動

道の駅大和路へぐりくまがしステーションに常駐(土日祝10時~15時)しており、古墳などの平群町の見どころを、心を込めて案内する活動をしています。毎年恒例の千光寺の戸開式(とあけしぎ)・戸閉式(とじめしぎ)や、藤田家住宅(重要文化財)の公開などに併せた案内は好評です。令和5年度は、4年ぶりとなる「へぐり時代祭り」で「歴史ウォーク」を実施し、町内外より多くの方が参加しました。



歴史ウォーク(椿井城跡)

### ■「信貴山城址保全研究会」の活動

発足以来、登山道から松永屋敷跡を含めた城址一帯の散策道を整備し、ボランティアスタッフが毎月清掃活動を実施しています。また、歴史家の先生などを招いて、講演会や現地見学会などのイベントも行っています。平群町では、「信貴山城址保全研究会」をふるさと納税の指定団体とすることで資金面や、城址の整備に必要な許認可面でも活動をバックアップしています。



整備された散策道(松永屋敷跡)

## 文化財資源の活用

### ■「武将印」を活用した町内外へのPR

令和3・4年度に企画制作した武将印を活用し、町内外の歴史イベントにブース出店しています。イベント出店の際には各史跡などの紹介に加えて、限定版の武将印を特別販売する等町の文化財資源のPRに努めています。





## 2-1 災害に強いまちづくり

### ■防災備蓄品の確保と防災協定の推進

水や食料・衛生品などの防災備蓄品を町指定避難所など12ヶ所の施設で分散備蓄し、災害時に迅速な対応ができるよう努めています。また、物資の供給や施設の応急復旧のため民間企業36社および行政機関8団体と防災協定を結び、防災力の強化に努めています。

### ■自主防災組織(結成30団体 組織率89.3%)

災害発生時に大切な「命」を守り、安心して暮らせるまちづくりを推進するため、「共助」の要である地域自主防災組織の結成を支援しています。また、防災研修会として出前講座を開催しています。

### ■地域防災計画 や ペットに関するマニュアルの作成

風水害や地震を想定した地域防災計画と防災ハザードマップの周知徹底を行っています。令和4年には「避難所におけるペット対応マニュアル」「災害時のペット飼育と同行避難マニュアル」を作成しました。



### ■職員による「土のう作り訓練」の実施

今後発生する大雨等に備え、災害発生時には全職員が迅速に対応できることを目的に実施しています。作られた土のうは土砂崩れ対策として備蓄されます。

## 2-2 生活を支える公共交通

### ■コミュニティバス事業

①住民の健康維持 ②通学支援 ③観光支援(地域活性化)等を目的に、2ルート(西山間・南北循環)で運行しています。令和5年6月・11月には、地域住民への外出支援を目的に無料乗車を実施しました。



### ■デマンド型乗合タクシー(高齢者の移動支援)

いつまでも元気に生活ができる移動手段として令和3年10月より運行しています。(対象：65歳以上の方)



## 2-3 地域で支え合い、安心して暮らせる福祉のまちづくり

### ■スマホ講習会

スマホを活用し「登録制メールサービス」「防災アプリ」により災害時の情報を確実に入手できるよう、基本的かつ便利な使い方等を習得できる少人数制の講演会を全6回開催(令和5年10月～令和6年1月)



### ■マイナンバーカード作成サポート

- ・来庁が困難な方を対象に、予約制で自宅へ出張し、写真撮影から申請までのサポートを行っています(令和6年3月まで)。
- ・窓口では写真撮影(無料)、申請書類作成サポートを行っています。
- ・マイナンバーカードは身分証明書として使えます。また、コンビニで住民票等が取得できます。(令和5年11月末時点：平群町交付率77%)



## 2-4 生きがいを創り出す生涯学習と文化活動

### 平群町総合文化センター

会議室・研修室	定期的に文化・芸術活動等を行うクラブ、会議・健康体操・学習会・イベント等の控室など多目的に使用されており、文化交流の拠点となっています。また「自習スペース」として空いている部屋を無料開放しています（対象：小学生～大人）
展示スペース	町内で活躍されているグループ・個人の作品や活動紹介や、文化財、地域の情報などを順次展示しています。
くまがしホール	講演会や演奏会、ダンス発表会など、多くの団体が使用されています。
どんぐり広場	住民参加によるイベント(マルシェ等)が開催され、賑わいを創出しています。
図書館	利用者の知的支援の拠点として、まちの案内コーナーも併設し、地域の情報収集発信機能も備えています。子ども読書活動推進の一環として、本やおはなしに親しむため、「なつやすみとしょかんひろば」開催しました。



総合文化センター外観(入口右：図書館)



くまがしホール(なつやすみとしょかんひろば)



どんぐり広場(マルシェ)

### 平群町総合スポーツセンター

メイン・サブアリーナ	令和4年度にアリーナ照明のLED化を行い、より利用しやすい環境整備を行いました。
トレーニング室	マシン等の定期的な入替えや機器使用に関する講習会を通じ、健康増進のため多くの方が使用されています。



### 各種イベントの開催

#### ■第12回へぐり時代祭り(4月29日)

4年ぶりに開催しました。メイン会場を道の駅大和路へぐりから総合文化センターへ変更し、大幅に内容をリニューアルしました。平群駅前を歩行者天国とし、模擬店出店者も過去最多の89店舗となり、多くの来場者に楽しんでいただくことができました。

#### ■オータムフェスタへぐり2023(10月28日～11月4日)

農業振興並びに芸術文化の振興を図るとともに、地域コミュニティの醸成を目指すことを目的に、収穫祭と文化祭を一体化した、「オータムフェスタへぐり2023-秋の収穫祭&文化祭」を開催しました。



へぐり時代祭り



主産物共励品評会



展示部門

## 2-5 環境への負荷の少ないまちづくり

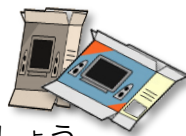
ごみ減量対策 ～みなさんのご協力が不可欠です～

### ■なんと25mプール26杯分！(可燃ごみ年間排出量)

可燃ごみの量は1日約13t。年間排出量は約4,800tにもなります。

### ■ごみの半分は「紙・布類」

- ・新聞雑誌はもちろん「お菓子やアイスの空き箱」等も、潰してから町内リサイクルステーションや集団回収に出しましょう。
- ・状態が綺麗な「服」「カバン」「マンガ」等はリサイクルショップで買い取ってもらえる場合があります。



### 紙ごみ削減への取組み

#### 町内3ヶ所のリサイクルステーション

ダンボール・新聞紙・雑がみ等のリサイクルステーションを運用しリサイクルを推進。食器回収もしています。



北部

(音の花温泉付近)



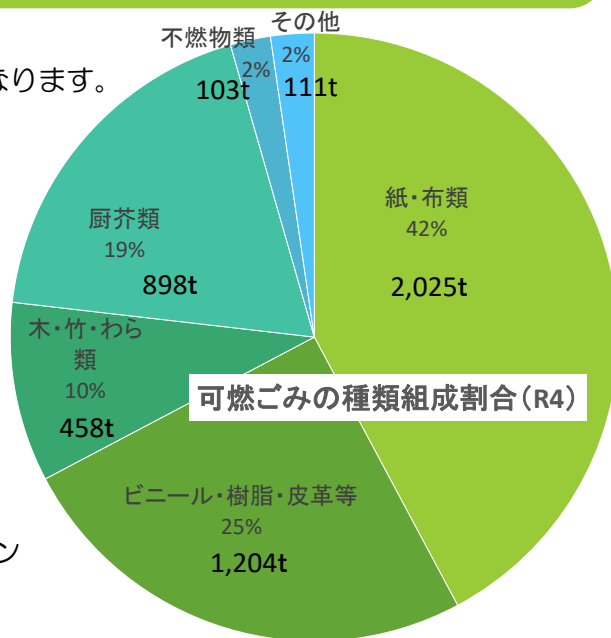
中央

(役場東駐車場内)



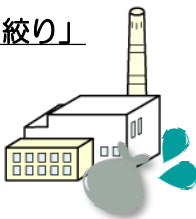
南部

(椿井交差点北西)



### ■生ごみは「ポイする前にギュッとひと絞り」

- ・お茶パックや生ごみ等を水切りすると重量を10%も減らせます。
- ・水分が少ないごみは、燃やしやすいため、燃料を大幅に節約できます。



### ■捨てないで！野菜や果物「皮にも栄養」

- ・残留農薬の不安がないものは皮も食べてみましょう。むく手間も省けます。
- ・「皮ごと食べられる果物」や「〇〇の皮 レシピ」等と検索してみましょう。



### 生ごみ削減への取組み

#### プランターDEキエーロ (土の力で分解)

キエーロ簡易版「プランターDEキエーロ」を作成し、環境保全推進員(エコリーダー)やモニターのご協力により、生ごみ削減への実証実験を行っています。今後、より多くの皆さんにご協力いただけるよう取り組んでいきます。次回募集は広報等でお知らせしますので、ぜひご応募ください。



▲土に生ごみを埋めると、もともといるバクテリアが生ごみを分解してくれます。



▲庭でもベランダでも設置可能な簡易タイプです。

### ■「ごみ減量フェスタ」を4年ぶりに開催 (5月)

総合文化センターにて、住民代表(エコ連絡会)共催により、住民協働の「ごみ減量フェスタ」を開催。当日は約600人の参加がありました。

【開催内容】フードドライブ、こども用品交換市、陶器交換市、エコ工作教室、エコ川柳発表会、エコぬりえコーナー、パッカー車の展示、生ごみ処理機展示コーナー、わたがしの無料配布、おいしいエコクッキング展、堆肥・朝顔の苗無料配布、アクリルたわし講習会、おもちゃの病院など



## 2-6 持続可能な行政運営に向けたまちづくり

令和4年度決算 全国ワースト順位

### 奈良県内順位 ワースト1位

公債費の負担が大きい実質公債費比率(市町村)

ワースト全国順位	市町村名	実質公債費比率(%)
1	北海道夕張市	67.4
2	京都府与謝野町	17.2
3	北海道網走市 岩手県奥州市	16.7
⋮	⋮	
29	平群町	14.4
全国平均		5.5
奈良県平均		8.0

#### 経常収支比率

(R1)99.9% → (R4)90.5%

#### 将来負担比率

(R1)241.3% → (R4)156.7%

#### 実質公債費比率

(R1)16.1% → (R4)14.4%

### 奈良県内順位 ワースト2位

地方債借入残高が多い将来負担比率(市町村)

ワースト全国順位	市町村名	将来負担比率(%)
1	山形県長井市	234.4
2	北海道夕張市	220.7
3	香川県多度津町	173.1
⋮	⋮	
9	平群町	156.7
全国平均		8.8
奈良県平均		33.9

家計に例えると、給与（経常的収入）で日々の生活費（経常的支出・食費、ローン返済、光熱水費等）を賄えているかどうか。

借入ローン残高や保証額などの負債が大きすぎないか、負債の規模を表しています。高いほど苦しい状況が長く続くことがわかります。

返済額の負担割合を表していて大きいほど借入ローン返済に困っていることとなります。

## 「緊急財政健全化計画」の推進（計画期間：R3～R7）

現在、町では、住民皆さまにもご協力をお願いし、財政の健全化に取り組んでいます。

計画目標値(R7決算) 経常収支比率 94%以下 / 将来負担比率 140%以下 / 実質公債費比率 15%以下

令和4年度決算は 3億7,448万円 の黒字決算

### ■計画期間中の決算推移

(単位:千円)

区分	R3	R4
歳入総額	8,205,132	7,742,595
歳出総額	7,743,294	7,311,753
実質収支	412,355	376,477
実質単年度収支	597,647	302,110
地方債残高	13,841,974	12,788,537
財政調整基金残高	465,198	715,197

※ 左は普通会計決算。決算の詳細は、広報11月号、または町ホームページをご覧ください。



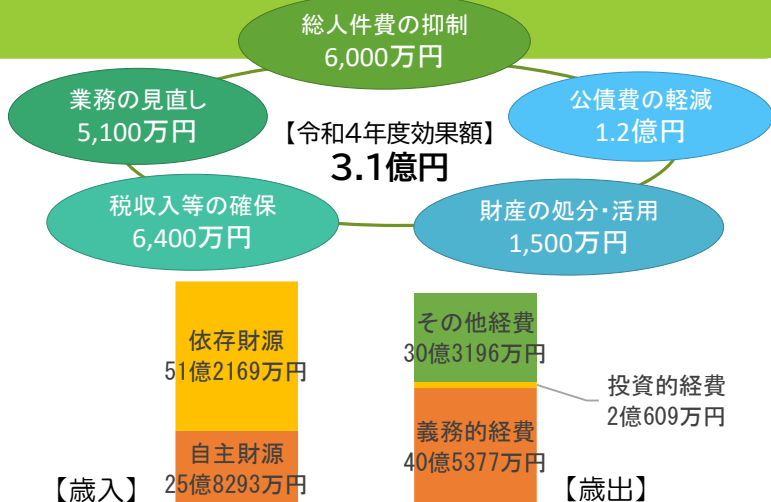
## 2-6 持続可能な行政運営に向けたまちづくり

### 財政健全化の取組み効果額

臨時的な職員給与カット、地方債の繰上げ償還や町有地の売却実施など、財政健全化の取組みの効果が着実にあらわれています。

#### ■しかしながら・・・

町財政は、歳入では3分の2は依存財源（地方交付税や国庫支出金など）が占めており、自主財源（町税など）の比率が年々低下しています。また歳出では、全体の半分以上を義務的経費（人件費、公債費や扶助費）が占めており、硬直した財政構造にあります。

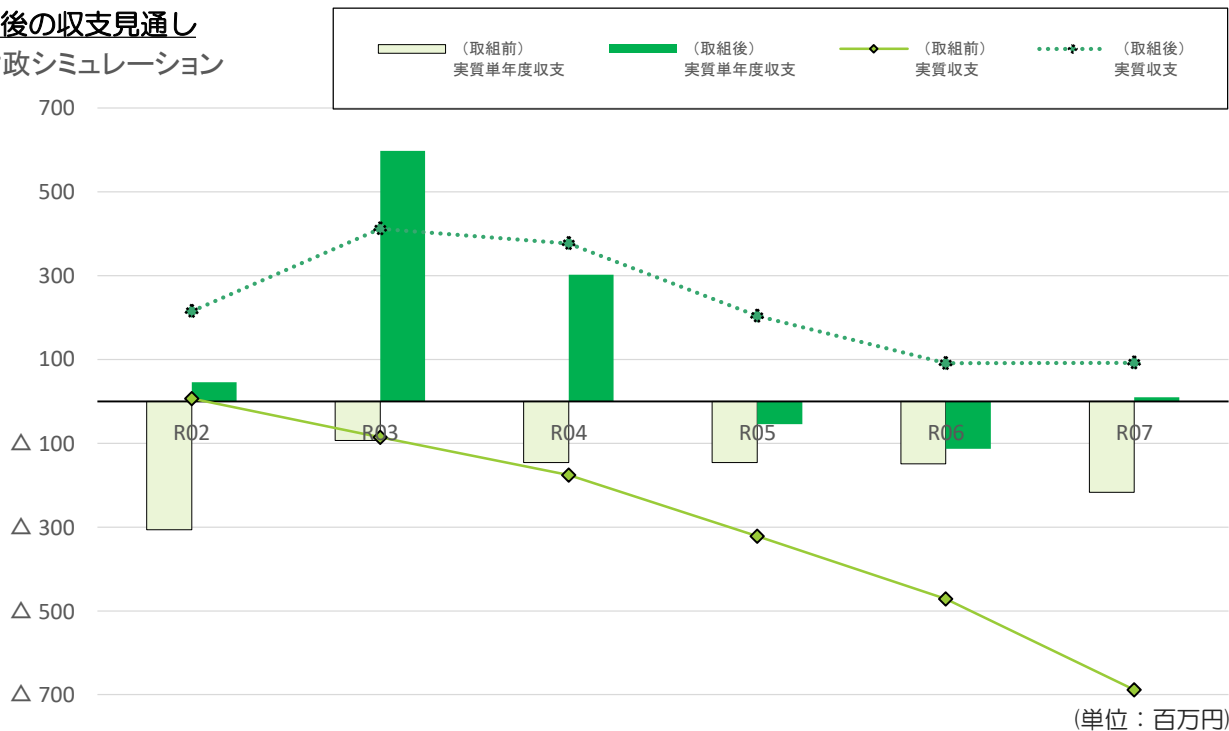


### 県と連携をとりながら 財政健全化を推進

奈良県から発令されている「重症警報(令和5年度発令中)」に対応し、「緊急財政健全化計画」を推進しています。その成果により、財政状況は取組み前から大きく改善されています。全国水準・県内水準と比べるとまだまだ健全な財政状況とはいえませんが、奈良県と連携をとりながら、今後も継続して財政健全化に向けた取組みを実施してまいります。

#### ■今後の収支見通し

##### 財政シミュレーション



	R2	R3	R4	R5	R6	R7
（取組前）実質収支	7	△ 86	△ 176	△ 322	△ 471	△ 688
（取組後）実質収支	215	412	377	204	91	92
（取組前）実質単年度収支	△ 306	△ 93	△ 146	△ 146	△ 149	△ 217
（取組後）実質単年度収支	46	598	302	△54	△113	1

## 1. 背景

ウォーターパークは、30年前（平成5年）に健康志向の高まりの中、通年利用可能な体育館と併設して、夏季のレジャー施設として建設されました。この間、町内外の皆さまに親しまれてきましたが、長年の経過で老朽化が進み、多数の不良箇所が発生し、毎年度、滑り止めシートやポンプ等に多額の改修費③が必要となっていました。今後、利用者のニーズに応えられる施設整備や安全確保には更なる経費が必要という状況であり、また、近年のレジャーの多様化、少子化等により、利用者数①も大幅に減少し、ウォーターパークの管理運営費②においても、多額の赤字を生み出している状態でした。

## 2. 検討結果

ウォーターパークの経営上、増大する管理運営費②と改修費③による赤字額が、町財政において大きな負担となっていました。

奈良県から令和2年11月に「町財政に対して重症警報」が発令され、町の危機的な財政状況から改善に向けた方策を検討する中、夏期40日の限定された期間で、毎年収入で賄えない約1,500万円（②+③）もの多額な経費が発生する状況や、利用者の安全や今後必要となる大規模更新工事費について、他の行政課題に優先して投資することの妥当性を検討した結果、やむなく廃止に至りました。（令和3年12月議会 廃止議案可決）

### ①利用者数の大幅な減少【11,451人の減少】

（平成22年 30,744人 → 令和元年 19,293人）

利用者の減少の要因を断定することは困難ですが、連日気温が35℃を超え40℃に迫る日が当たり前のようにある中、熱中症予防のために外出を避けるなど猛暑の影響や、将来的にもスポーツやレジャーの多様化、少子化等から、今後も増加が見込めない状況です。

#### 【利用者数の推移】

（単位：人）

H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
30,744	29,621	29,760	28,244	20,857	22,513	25,272	25,547	21,975	19,293

### ②管理運営費<指定管理者：(公財)平群町地域振興センター>の赤字負担の増加

#### 【運営管理費の推移】

（単位：万円）

年度	収入 (A)	運営費 (B)	光熱水費 (C) ※1	収支 (D) (A) - [(B) + (C)]
H27	1,289	1,317	733	▲761
H28	1,415	1,517	690	▲792
H29	1,482	1,488	646	▲652
H30	1,272	1,517	586	▲831
R1	1,091	1,459	520	▲888
合計	6,549	7,298	3,175	▲3,924

※1 光熱水費は、総合スポーツセンターと一体のため、令和2年度（プール営業休止）との比較により算出しています。

### ③改修費（施設の老朽化に伴い町負担額が増大）

【修繕料・維持補修工事費の推移】

（単位：万円）

年度	合計	科目内訳	支出額内訳
H27	527	維持補修工事費	289
		修繕料	238
H28	478	維持補修工事費	135
		修繕料	343
H29	1,715	維持補修工事費	963
		修繕料	752
H30	482	維持補修工事費	265
		修繕料	217
R1	651	維持補修工事費	252
		修繕料	399
総合計	3,853	維持補修工事費	1,904
		修繕料	1,949

※プール収入で賄えない経費【②+③】が、大きな財政負担となる。

直近 R1 年度：1,539 万円【②▲888 万円(地域振興センター赤字分) + ③ 651 万円(町負担分)】

### ④町の危機的な財政状況

町税の減収等の歳入の減少や公債費や扶助費の増加など、町財政は危機的な状況です。町職員の一時的な給与カットを行うなど改善に努めていますが、財政の大幅な改善は望めない状況です。

### ⑤今後、想定される多額の経費と財政負担の困難性

#### ・「改修費用 約 5 億 4,000 万円」の概算見積りと根拠

平成 5 年開業以来 20 年が経過し、老朽化が進み毎年多額の修繕費が必要となっていたことから、今後長期的に運営していくためには、大規模改修を視野に入れた対策が必要であり、指定管理者である（公財）平群町地域振興センターが平成 28 年に取得した概算見積り額が、約 6 億円（消費税・解体費を除く）です。

町議会の全員協議会およびパブリックコメントでは、この概算書を基にリニューアルした場合の費用として「改修費 約 5 億 4,000 万円」と算出し、説明してまいりました。

#### ・上記の概算見積り「改修費用 約 5 億 4,000 万円」を、専門家を通じて改めて精査

##### 1 回目の精査

令和 4 年度に改めて施設の劣化状況を確認、改修費について精査し、今後 20 年間施設を継続使用した場合のライフサイクルコスト※を含め《2つの案》を作成し、再度検討を行いました。※「イニシャルコスト(初期導入費等) + ランニングコスト」のこと。下表ライフサイクルコストの算出条件として、ウォーターパーク運営における収入・運営費・光熱水費は、H22～R1の実績平均値を用いています。

1 回目の精査	大規模更新工事費	ライフサイクルコスト(今後 20 年間) ※左の工事費含む
《1案》	<p>約 2 億 3,800 万円</p> <p>主な内容▶劣化破損したプールサイドの滑り止めシートを更新し、プール設備機器改修については、耐用年数を経過したろ過ポンプ・揚水ポンプ等の最低限の更新にとどめ、部品交換・調整を中心とする。各プール槽は下地研磨の上で FRP 積層し、塗装仕上げとする。不具合が発生している着水プール床板は撤去更新する。</p> <p>以上、必要最低限の改修を行った算出をしています。</p>	<p>約 5 億 9,300 万円</p> <p>修繕費を H22～R1 の実績平均値（510 万円）から、経年により毎年 0.5%費用が増加すると仮定し、上記のとおり初年度の修繕を応急処置的な最低限のものとしたので、10 年目頃に先延ばししている大規模改修に約 1 億 2,000 万円必要になると想定して算出しています。</p>

《2案》	約3億7,300万円	約5億8,200万円
	<p>主要内容▶上記《1案》に加え、再営業する上で管理室内外装および給排水・電気設備類を改修し、プール設備機器については、ろ過装置・揚水ポンプ・起流ポンプ(西)・自動滅菌装置の撤去更新を追加する。プール槽は、着水プール床板の地業部分も更新する。</p> <p>更に設計委託費用を計上し算出しています。</p>	<p>上記《1案》に比べ改修工事を予防保全として行うことにより、修繕費をH22～R1実績平均値の半分程度に抑制を図れると仮定し、その後10年経過した段階で実績平均値程度が必要となり、その後0.5%程度増加するものと想定して算出しています。</p>

## 2回目の精査

令和4年9月7日町議会の全員協議会を経て、再度精査することになりました。

主要内容は、可能な範囲で再度見積りの取り直しをしました。また、滑り止めシートについては、本町で同工事を実施した直近3年間の平均㎡単価を用いて積算し算出しました。同時にこれを基に、今後20年間継続使用のライフサイクルコストを次のとおり算出しました。

2回目の精査	大規模更新工事費	ライフサイクルコスト（今後20年間） ※左の工事費含む
《1案》	約2億3,100万円	約5億8,600万円
《2案》	約3億7,300万円	約5億8,200万円

## 3. 町議会および各種団体等への説明

令和3年2月 町議会 全員協議会  
5月 校舎長会、定例教育委員会  
6月 平群町スポーツ協会運営委員会  
7月 パブリックコメント（7月1日～31日）※8件のご意見を頂戴しました。  
8月 社会教育委員会議  
11月 定例教育委員会  
12月 町議会定例会にて、ウォーターパーク廃止議案可決

## 4. まとめ

ウォーターパーク建設当時（H5.10）の町人口は20,641人で増加傾向でした。しかしながら、現在（R5.10）は18,312人であり、2千人以上減少しています。一方、高齢化率は、平成5年度末（H6.3）で12.1%でしたが、現在（R5.11）では38.9%です。また、将来推計人口は、令和7年16,811人、令和12年15,434人となっており、中でも15歳未満人口について過去5年間で245人の減少、今後5年間で144人の減少を予測しており、将来的にも今後の利用者の増加は見込めない状況と言えます。

同施設の存続には、『利用者的大幅な減少による収支バランスの悪化』、『老朽化による修繕費等を含めたランニングコスト』など、財政上の問題が大きく影響しており、継続不可能との決断に至りました。

他にも、町保有の公共建築物やインフラ資産等には、これから更新時期を迎えるものが多くあります。当面の課題である「中学校の長寿命化改修事業」をはじめ、役場庁舎の建替え、清掃センター延命化など、行政課題が山積している状況です。今後、事業見直しなどスリム化を図り、財政見通しを立てながら、令和5年4月に策定した第6次総合計画を着実に実行し、持続可能な行政運営を目指してまいります。